

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

制度、文化、公共心と経済社会の相互連関

研究テーマ名

子ども・若者の貧困対策諸施策の効果と社会的影響に関する評価研究

責任機関

公立大学法人首都大学東京

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
＜政策研究グループ＞ <u>研究代表者兼グループリーダー</u> 阿部 彩 （世論研究グループ 兼任）	首都大学東京・人文科学研究科・教授
<u>分担者</u> 岡部 卓 （理論研究グループ 兼任）	首都大学東京・人文科学研究科・教授
丹野 清人	首都大学東京・人文科学研究科・教授
＜プログラム評価研究グループ＞ <u>グループリーダー</u> 乾 彰夫	首都大学東京・人文科学研究科・教授
<u>分担者</u> 長沼 葉月	首都大学東京・人文科学研究科・准教授
室田 信一	首都大学東京・人文科学研究科・准教授
浜谷 直人	首都大学東京・人文科学研究科・教授
<u>小林 和明</u>	神奈川県相模原市役所健康福祉局子ども育成部参事（前相模原福祉事務所保護課長）

<u>野崎 友輔</u>	東京都板橋区福祉事務所生活保護・生活困窮者自立支援 主任主事
〈世論研究グループ〉 <u>グループリーダー</u> 堀江 孝司	首都大学東京・人文科学研究科・教授
分担者 阿部 彩	首都大学東京・人文科学研究科・教授
<u>水島 宏明</u>	法政大学・社会学部メディア社会学科・教授
〈理論研究グループ〉 <u>グループリーダー</u> 岡部 卓	首都大学東京・人文科学研究科・教授
分担者 松下 丈宏	首都大学東京・人文科学研究科・助教

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
2,530,000	4,180,000	2,890,000	1,580,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

研究目的の概要

子どもの貧困・若者対策がどのような効果を上げているか、またそれらの対策が当事者、制度政策・支援関係者、世論にどのような影響・変化を与えているかを、制度・政策、方法、理論等の検討を通し今後の方策を考察・展望する。

研究計画の概要

子どもの貧困・若者対策諸施策を、①制度政策レベル、②運営・実施レベル、③子どもの貧困・若者対策に関する世論レベル、④施策の正当性をめぐる言説の理論的検討、という4つのレベルで文献調査及びインタビュー調査を実施し、子どもの貧困・若者対策政策の今後の可能性を検討する。